

〈公開授業〉

3年・造形遊び

題材 氷をつなごう ～氷絵の具のオブジェ～

(全4時間)

目 標

- ・形や色彩を表す技法を効果的に活用し表現する。
- ・形や色彩を工夫して発想・構想し表現する。
- ・形や色彩の表現や鑑賞に進んで取り組む。

題材について

本題材は、絵の具を溶いた色水を冷凍庫で凍らせて作った「氷絵の具」のブロックを使って、新たな表現を試みるものである。幼稚園や保育園等で折見られる「氷絵の具」の実践は、画用紙等への、氷をクレヨンのように扱った描画に限られたものが多い。しかし、今回はこれを新しく立体表現の材料と捉え、ある方法で一つひとつを接着させ組み合わせていくことでオブジェとして表現させていく。

隣り合う氷は左右から圧力をかけることで接する面の氷が融解し一時的に水になるが、接する氷がこれを再び凝固させていく。非常に繊細でコツを必要とする作業ではあるが、これを利用して、10秒程で氷どうしを圧着してつなげることが可能である。また、つなげた氷は時間とともに表面から溶けていき、角ばった部分が滑らかに形態を変化させていく面白みがある。この溶けるまでの変化をデジカメで記録して鑑賞につなげることも可能である。児童が、氷という普段あまり触らない素材に触れ、新しいイメージの表現や工夫にいきいきと挑戦できるよう支援していきたい。

評価規準

知 識 ・ 技 能	氷絵の具の圧着や積み重ね、併設を効果的に活用し表現している。
思考・判断・表現	氷絵の具の造形や色彩のバランス等を工夫して発想・構想し表現している。
主体的に学習に取り組む態度	表現や鑑賞に進んで取り組み、形や色彩の表現の違いによる良さや工夫を感じ取っている。

指導計画 (全4時間)

次 (時間)	内 容	評価の重点		
		知識	思考	主体
1 次 (2h)	練習用の氷で技法を試す。	○	○	
2 次 (本時)	氷絵の具をつなげてオブジェを制作し、写真に残す。	○	○	○
3 次 (1h)	写真と鑑賞シートを使って鑑賞会をする。		○	○

本時の目標

- ・氷絵の具の表現に進んで取り組み、工夫して発想・構想し、技法を効果的に活用する。
- ・自分や友だちの作品を鑑賞し、形や色彩の表現の違いによる良さや工夫を感じ取る。

本時の展開 (本時3 / 4)

共通事項	学 習 活 動	主な指導 (◎) と支援 (○)、 言語活動への働きかけ (◆)	評 価
イ 形や色などの感じを基に、 自分のイメージをもつこと。	・本時の活動を知る。	◎板書やTV画面に映した写真を活用して、本時のめあてや技法を提示し、見通しが立てられるようにする。	・形や色彩の表現に進んで取り組もうとしている。(主体的)
	氷絵の具をつないで、誰も見たことのないオブジェをつくらう		
・氷絵の具をつなげてオブジェを制作し、写真に残す。	○活動内容や時間を板書で確認できるようにしておき、児童が自ら活動を進められるようにする。 ○形や色彩を表現しにくい児童には、助言したり見本や手本を提示して、制作を進められるようにする。	・氷絵の具の圧着や積み重ね、併設を効果的に活用し表現している。(知技) ・氷絵の具の造形や色彩のバランス等を工夫して発想・構想し表現している。(思判表)	
・制作中の作品をグループ内で交流する。	◆制作中に時間を決めて、途中の作品を交流できるようにする。	・形や色彩の表現の違いによる良さや工夫を感じ取っている。(主体的)	
・活動を振り返る。	◆振り返りシートで学びを整理させ、次時での交流につなげる。		

準備物

指導者…氷絵の具(水・絵の具)、製氷皿、冷凍庫、トレー、デジカメ、振り返りシート
 児童…雑巾、筆記用具